



医療法人ピーアイエー

ナカムラ病院

介護老人保健施設

まいえ

グループホーム

つばい



社会福祉法人双樹会

特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所

訪問介護事業所

居宅介護支援事業所

C&C コミュニケーション

第59号

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1 TEL(082)923-8333(代)
ホームページ <http://www.pia-gr.or.jp/>

アメリカ発の金融危機による不況の波が世界中に広がり、日本においても昨年秋からその影響が顕著となってきました。派遣社員などの契約解除の流れが激しくなり、正社員にも及びつつあるとマスコミは連日のように報道しています。

一方介護の現場は人手不足が深刻です。人口の高齢化を受けて昭和六十二年五月に、介護に関わる専門資格として介護福祉士が国家資格化されました。

即ち専門の知識及び技術をもって身体的、精神的障害により日常生活に支障のある高齢者などの要介護者に対して、心身の状況に応じた入浴、排泄、食事、その他の介護を行い、並びに要介護者及びその介護にあたる者に対して、介護に関する指導を行う者としての資格です。

この資格を取得するためには、厚生労働大臣が指定した養成学校を卒業するか、三年以上介護の業務に従事した後介護福祉士国家試験に合格することが必要です。ところが平成二十年現在で約六十四万人がこの資格を持っていますが、その半分の約三十二万人が介護の仕事についていないというのですから驚きです。

その理由として過重な労働と、それに見合わない低い給与水準があげられます。厚生労働省の調査によれば、平成十七年のフルタイム労働者の平均時給額は、全産業平均は千八百三十円なのに施設介護職員は千二百十円です。

社会保障の充実を

この原因は国の医療、介護などの社会保障費の抑制策にあり、平成十二年に介護保健制度が発足以来三年に一度の介護報酬の改定が行われてきましたが、平成十五年はマイナス二・三%、同十八年にはマイナス二・四%といずれもマイナス改定となりました。

ところがさすがの国も介護における惨状を見かねて、本年四月に行う改定はプラス三%のアップと決定しました。

医療の方でも医師不足により病院が閉鎖に追い込まれたり、救急車がたらいまわしさせられるなどの崩壊現象が起きています。

なにしろわが国の医師数は少なく、平成十八年現在で人口千人当たり二・一人、OECD加盟三十ヶ国中二十六番目の低い水準で、OECD加盟国平均の三・一人を大きく下まわっています。

慌てた国は差し当たり、今年の大学入学試験においてさしあたり医学部の定員を増やすことを決定しました。

しかしながら本当に必要なのはこのような姑息な対策ではなく、先号でも述べましたがこれまでの社会保障費抑制策を転換することです。

社会保障の基盤を固めることが、国の安定、発展につながるのです。

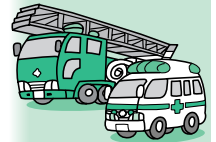
医療法人ピーアイエー

理事長 中村 英雄

避難訓練

あせらず
あわてず
冷静に

無事終了



平成十三年以来七年振りに大規模な避難訓練が十一月十三日にナカムラ病院B棟で行われました。当院は敷地内禁煙であり、ガスも厨房以外には配管がされていないので火災発生要素がほとんど無いため、大地震による原因不明の火災という想定で実施されました。消防車両が九台出動し、内二台のはしご車でB棟屋上へ避難した人とB棟四階ベランダへ避難した人を、それぞれ救助しました。特に屋上へ避難した人を救助するはしご車のはしごが一直線に伸びて直立したときは、七階立てのビルをはるかに凌駕する高さとなりました。更に、避難者がフェンスを乗り越えてはしごの先端のゴンドラ



▲発煙筒もたかれ、緊張感のある訓練となりました

へ乗り移ったとき、駐車場で見守っていた人々から感嘆の声があがりました。しかし、本当の火災であれば大惨事となり得るので日頃から訓練の大切さを痛感しました。このような大規模な訓練は滅多にないので貴重な経験として各自が記憶してくれることを期待しています。

医療法人ピーアイエー
防火管理者 尾崎 和則



▲病院職員が救助される役をつとめました

参加職員の声

声

「今、救助しますから待っててください。」という掛け声で訓練が始まりました。屋上からはしご車に乗せられ、消防の方々の円滑な対応で無事救助されました。実際に火災が発生した時に、迅速に行動できるよう日々心掛けておくことの重要性を実感できた一日でした。

ナカムラ病院 薬局
助手 新谷いづみ



▲はしご車はこんなに高くまでのびるんですね

私は車イスの患者さまを救助する役でした。平らな道や段差は進むことができましたが、病院の前の坂を降りるのは思った以上に力が必要で消防士の方の力を借りてやっと降りることができました。今回の訓練は私にも誰かを救助できるという自信につながり、よい経験になりました。

ナカムラ病院 医事課
藤本 結香

第44回家族会

十月十八日(土) 第四十四回家族会を行いました。

今回は「嚥下食と食品衛生」というテーマで、日清医療食品で衛生インストラクターをされている青木さまにお越しいただき、ノロウイルスなどの感染症の予防についてお話をいただきました。

また、後半にはナカムラ病院栄養科主任の前原より「嚥下食(飲み込みが難しい方のためのお食事)」について説明を行い、嚥下食の試食を行いました。

参加していただいたご家族からは「病院での食事について、細かい心配りが感じられてよかった」とご好評をいただきました。

介護老人保健施設 まいえ
支援相談員 石田優一朗



▲嚥下食の種類について管理栄養士が説明を行いました



▲ 色々な意見を出し合いました!

平成二十年十一月二十六日・二十七日全職員対象の接遇研修を行いました。全職員対象の接遇研修は今回で三年目になります。今回は成和産業株式会社の接遇インストラクター平儀野真紀さまに「ご家族への接遇」をテーマにお話をさせていただきました。

研修では七人ずつのグループになり、「患者さま・ご家族に話しかけやすい雰囲気を感じていただくためにどうしますか?」「患者さま・ご家族に元気を与えるためにどんなことをしますか?」などの六つの項目についてグループディスカッションを行いました。他職種の人や普段話をする事のない、他の病棟の職員が集まることにより、色々な意見が出ました。研修に参加した職員からは、『接

遇が良く、患者さまのご家族ときちんと連携がとれることにより、患者さまに対するケアもより良くなると思う。』『笑顔で接することによって、患者さまも元気になり安心していただきたい。』というような感想が多く書かれていました。

今回の接遇研修は時間や場所の都合により半数の職員しか出席できませんでしたので、平成二十一年一月にも同様の研修を行う予定にしています。この研修をきっかけに、再度自分達の接遇態度を見直して参りますが、接遇に関してお気付きの点などがございましたら、遠慮なく職員に言っていたきたいと思えます。

ナカムラ病院

医療福祉相談室

木本 悠香

平成二十年十二月六日病院開設三十周年にあたる記念の日に、リーガロイヤルホテル広島において、医療法人ピーアイエーの忘年会が開催されました。

三十周年ということで、ボランティアとして日頃お世話になっていらっしゃる方もご招待し、総勢二百七十九名が参加して盛大に開催されました。広島交響楽団のコンサートマスターを務めた上野真樹さん率いる弦楽四重奏とピアノの演奏で迎えられ、十九時十分に開会しました。

まず、中村理事長から病院三十年間の歩みと医療・介護の現状、今後の見通し、職員の皆さんに対する感謝と期待が述べられました。また、本年をもって副院長職を退任され、非常勤勤務となられる迫田副院長に対し感謝の言葉が述べられました。ゲスト、ボランティアの紹介の後、勤続三十

PIA

忘

年

会



▲とても楽しいすてきな演奏をしていただきました!

年、二十年、十年の永年勤続職員の表彰があり、小林施設長の乾杯の音頭で会食となりました。その後、例年よりも多くの景品が用意された、恒例のビンゴ大会が開催され、大いに盛り上がりました。中締めでは退任が決まった迫田副院長が挨拶され、今までの思いをお話しされました。ビンゴの景品をもらえなかったのは残念ですが、おいしい料理を食べ、お酒もいただき十分に楽しんだ忘年会でした。

医療法人ピーアイエー
事務部長 若宮 信二

栄養のお話

お雑煮の話

餅は昔から日本人にとってお祝い事や特別の日に食べる「ハレ」の食べ物でした。先人達は新年を迎えるにあたって、餅をつけて他の産物とともに年神様にお供えをしました。旧年の収穫や息災に感謝し、新年の豊作や豊漁、家内安全などを祈った。そのお供えをお下がりにいた、だくのがお雑煮というもので、お正月の祝い膳には欠

陽光の家通信

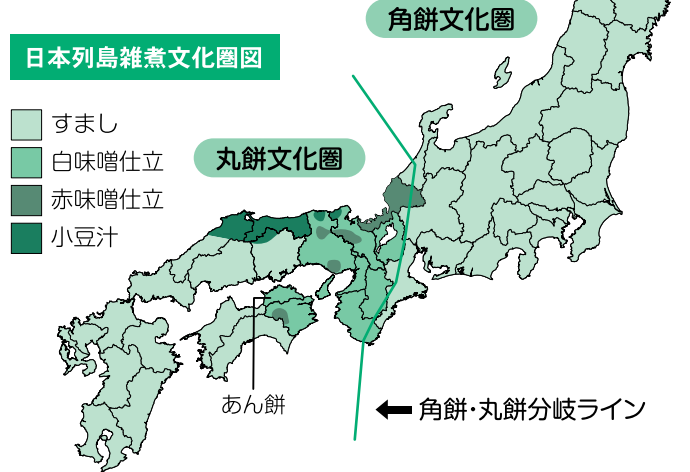
【物故者慰霊祭】

十一月十六日に、陽光の家において、『物故者慰霊祭』が執り行われました。リーダーの一人ひとり、追悼の言葉として故人の思い出を述べるなか、故人の笑顔や昔話に花が咲いたこと、一緒に見た裏庭の桜など、さまざまな情景が懐かしくまぶたの裏に浮かんできました。

ご入所者の方々にも、焼香をしていただき、悲しみは今も消えてしまうことはありませんが、悼む気持ちを思い出という形に変えて皆さまとともに、故人の冥福をお

くことのできない意味を持つものです。また、お雑煮の中身を見れば、その人の出身地がわかると言われるほど、地方に密着した料理は他にはあまり無いと思います。例えば味付けも味噌や醤油・小豆などさまざま。これからもそれぞれの家庭の味を大切につつ、若い世代にも受け継いでほしい伝統料理の一つだと思います。

ナカムラ病院
栄養科主任 前原 陽子



祈りいたしました。

私達は、日々の生活の一部を援助する中で、多くのことを経験し、そして学ぶことができました。その経験と学びを活かし「陽光の家」を利用してよかったです。」と書いていただけるように、日々努力していきたくと考えさせられた、一日でもありました。

特別養護老人ホーム 陽光の家
ほほえみリーダー 岩本 陽子



つばいこぼれ話

つばいのなかまの巻

つばいでは、平成二十年六月からホーム内に展示する写真入りの新聞作りに取り組んでいます。「まあ、いつの間に撮ったん？」「きれいに撮れとるねえ。」四季折々の行事の写真や記事を囲み、皆さんで話が弾みます。ご家族にも、ホームでの様子がよくわかり、いきいきと楽しそうな姿が見られて嬉しいと好評です。「もうちいと、べっぴんにならんといけんね。」「まあ、うちは、こんなに年をとったたかいね。」と笑いを交え、皆さんの良い刺激になっていようです。これからも、皆さんに四季や行事が確認できるように楽しい新聞作りをしていきたいです。

グループホームつばい
介護職 野田 勝美

第20弾

在宅介護の助っ人!!

～居宅介護支援事業所～



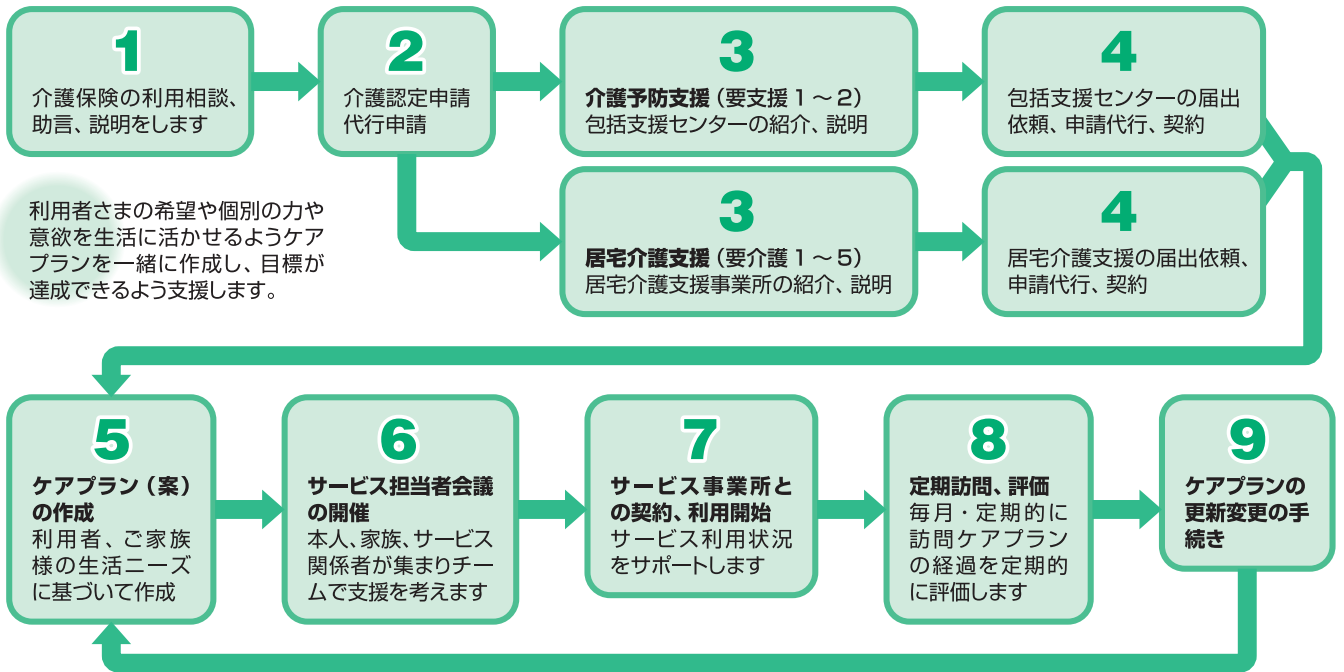
今回は、陽光の家居宅介護支援事業所の紹介です。
居宅介護支援事業所では、介護保険に関するサービス利用について申請の手続きからケアプランの作成、サービス事業者との調整まで、ケアマネジャーがご相談を承ります。
今回は陽光の家居宅介護支援事業所の徳毛新太郎さんに話を聞きました。

陽光の家居宅介護支援事業所が開設されて8年が過ぎました。当初は、要介護1、2の利用者さまが多かったのですが、平成18年4月の介護保険制度改正の介護予防支援創設により、今まで要介護1の利用者さまが要支援1、2に変わり利用者さまから認定結果やサービス利用回数制限などの不服や相談が多くありました。

また、予防給付と介護給付を行き来する利用者さまの対応、認定結果の遅れから予防給付か介護給付か分からない利用者さまの対応、地域包括支援センターとの連携等が増えています。

ケアマネジメント（介護予防支援（要支援1～2）居宅介護支援（要介護1～5））の大まかな流れを説明します。

■ ケアマネジメントの大まかな流れ



平成十三年から、俳句・短歌などを収載した「あゆみ」を発行しており、各病棟に掲示しています。投句は、当院入院中の方、まいえ入所中の方、デイケアにぎや家ご利用者の方、さらにはご家族、当院職員…と幅広く募集しています。ご家族の方から投句してもらいやすいように、当院に設置してあるご意見箱からも投句が可能になりました。日常の一場面から…ふと思いついた句を紙に書いていただき、名前（俳号・ペンネームなど匿名も可能）とともにご意見箱に入れて下さい。締切りは奇数月の月末、発行は偶数月初旬を予定しております。今後とも「あゆみ」をよろしく願っています。

老人保健施設まいえ

リハビリテーション科

作業療法士 兵頭 佳子



介護 ワンポイント アドバイス10

Nursing One Point Advice

～おむつ交換時のポイント～

今回はおむつ交換時のポイントをご紹介します。

1. おむつ交換時には、カーテンなどでプライバシーの確保をしましょう。
 2. 時間を決めて尿器をあてると、尿意をもよおし、おむつを汚さないこともあります。
 3. 膝を立てる、腰を浮かす、横向きになるなど、自分が出来ることはしてもらいましょう。
 4. 陰臀部しんてんぶをぬるま湯で流してから、蒸しタオルで拭きます。決して力を入れてこすりません。終わったら少し乾かしてからオムツをすることで、清潔を保つことが出来ます。
 5. 湿疹や傷がないか、皮膚の状態を見るときともに、排泄物の様子も観察します。色や臭い、量や形、混入物はないか、普段との違いを見ます。
 6. 排泄後は、おむつの内側がジメジメして、皮膚がむれてふやけた状態になります。この状態を放っておくと皮膚のバリア機能が低下し、足を動かしたときの摩擦で皮膚の表面がすれてたれてしまいます。ただれがひどくなると治りにくいので、出来る限り、排泄後すぐにおむつ交換をする様にしましょう。
- 排泄感覚がない、または身体的・精神的な障害によりトイレや排尿道具が使用できない方に対し、やむを得ずおむつを使用することを原則とします。
- 失禁したり、排泄が気になって夜間眠れないといった時など、最後の手段として考えるのがよいと思います。

ナカムラ病院 B7病棟介護主任
吉田 貴



今回はB7病棟で大正琴の演奏をさせていただいている「サンフラワー」の田辺愉紀子さまにお話しを伺いました。

音楽は、演奏する人も、聴く人も、唄う人も、過ぎ行く刻ときを忘れる一体となり、心の安らぎと、癒しの時間を与えてくれる世界共通の言葉であり、大正琴もその一つと言えます。

私たちは、多くの人々に、この万国共通の言葉である、素晴らしい琴の音色を聴かせてあげたいと、同好会「サンフラワー」を結成、いまもって未熟者ではありますが、ナカムラ病院のご協力を頂き慰問演奏を続けて参りました。

懐かしのメロディーに合わせ、大きな声で歌を唄い、手拍子を取りながら聴く人、調子はずれのアクシデントも何のその、「待っていたよ」「よかったよ」「またきてね」との声に支えられながらの、月一回の訪問も、回を重ねて五十六回となりました。

これからも、あたたかい励ましの言葉を糧として、より一層の技量向上に努め、皆様の役に立てる「サンフラワー」であるように、奮ることなく精進します。

今後、ご指導とご声援の程よろしくお願い致します。

スタツフ インタビュー



今年が丑年です。そこで今回は丑年生まれのB7病棟准看護師・栗田広宣さんにインタビューをしました。

Q: 今年が年男ですが、今年目標を教えてください。

A: 目指せ体重8kg減

Q: ダイエットの秘策はありますか？

A: ビリーズブートキャンプ。

Q: 只今除隊中ですが、再入隊する予定ですか？

A: 趣味は何ですか？

Q: 子育て(子供と遊ぶこと)に関する自慢話ありますか？

A: 現在4才と3才ですが20まで英語で数えられます。

Q: 今年一年はどんな年にしてきたいですか？

A: 勉強と子育てを一生懸命頑張りたいです。

ありがとうございました。これからも、仕事と子育てを頑張ってください。



▲寒いときには
温かいぜんざいが一番ね

紅葉はピークを迎えており、赤や黄、橙色などのさまざまな色に染まった木々を見て、皆さま「きれいなねー」（銀杏が）におうね」などと話しながら辺りを見渡したり、写真撮影をしたりして、秋の錦帯橋を満喫されていました。

お昼は吉香公園でお弁当を食べました。色とりどりの美味しそうなお弁当に食欲が出て、普段あまり食事がすすまない患者さまがこ

「まっかだなー♪まっかだなー♪モミジの葉っぱがまっかだなー♪」
二〇〇八年十一月二十一日、B1病棟の患者さま八名、ご家族とご友人三名、職員八名にて、岩国の錦帯橋に紅葉狩りに行ってきました。

紅葉狩り バスハイク 2008



▲紅葉を見ながらのお弁当は
また格別!!

の日は完食されるなど、空の下での食事を皆さま楽しんでおられました。

その後の自由時間には、ご家族やご友人と散策されたり、白へびを見物したり、茶屋に寄ったりと、皆さまそれぞれの時間を過ごされていました。茶屋では、ぜんざいや抹茶、コーヒーなど、入院生活ではなかなか味わうことの出来ない味を楽しまれ、満足そうな表情をされていました。

たくさんの笑顔がみられた今回の紅葉狩りバスハイクでしたが、このような楽しい時間をまた一緒に過ごしたいなと思っています。

ナカムラ病院 リハビリテーション科
理学療法士 中村 萌子

行事ダイジェスト

10月

- ハーモニカ演奏会 (A3・にぎや家・つばい)
- バスハイク (B6・まいえ1・まいえ2)
- 外食～回転寿司～ (つばい)
- 昼食バイキング (まいえ2・にぎや家)
- 昼食バイキング そば打ち実演 (まいえ1)
- 屋上散歩 (B5)
- 湧水まつり 観音台公民館 (つばい)
- 秋の運動会 (A3・B7)
- 家族会日帰り旅行 (陽光の家)
- 広島市老人ホーム親善芸能発表会 (陽光の家)



11月

- ハーモニカ演奏会 (A3・B1・B7)
- 家族会と運営推進会議 (つばい)
- 料理教室
～ふかし芋～ (まいえ1)
～さつ果汁～ (まいえ2)
- そば打ち (B7)
- 秋の収穫祭 茶巾しぼり (B5)
- フルーツバイキング (まいえ1)
- 昼食バイキング (まいえ2)
- カラオケ喫茶 (B6)
- 院内喫茶 (まいえ2)
- さつまいも団子づくり (A3)
- 秋まつり (まいえ2)
- 秋のバスハイク (にぎや家・リハビリ)
- 大正琴 (全体行事)
- 物故者慰霊祭 (陽光の家)
- 秋の防災訓練 (陽光の家)
- 家族会秋の園芸活動・茶話会 (陽光の家)

12月

- ハーモニカ演奏会 (A3・にぎや家・つばい)
- チャリティーバザー (つばい)
- クリスマス会 (全体行事・A3・B1・B6・B7・まいえ1・まいえ2・つばい)
- クリスマス会・ケーキ作り (B5)
- お誕生日会&クリスマス会 (B4)
- 昼食バイキング (まいえ2)
- 忘年会 (にぎや家)
- 料理教室～豚汁～ (まいえ1)
- 家族会忘年会・クリスマス会 (陽光の家)
- もちつき (陽光の家)



PIA 理念

我々は幸齢社会を創ります

我々は、今後増大する高齢者の医療、福祉の要望や要請に対応したサービスを創造する社会的使命を自覚し、精神的、肉体的苦痛や負担を軽減し、安心して残りの人生を幸福に送って頂ける環境とサービスの創造と提供を行います。

看護・介護の理念

我々看護・介護職は患者さまの自立を目標に精神的、肉体的苦痛を軽減し、尊厳を持って療養生活ができる看護・介護を提供します。



ボランティアをお願いします!!

あなたの特技を 病院・施設で活かしませんか?

病院・施設ボランティアは利用者さまの生活に快適さと潤いを運ぶ活動です。個人でもグループでも結構です。現在、ハーモニカ演奏、手工芸、お茶席、生け花やフラワーアレンジメント教室の講師、メイクアップ、ギャラリーの展示作業等でボランティアの方々にご活躍いただいています。

お問い合わせは…

TEL082-923-8333 (担当・中田)

皆さま、明けましておめでとうございます。昨年は皆さまにとってどんな年でしたか? 私にとつて昨年は社会人一年目の年でした。ヒヨッコながら、人生の中で一番あつという間に過ぎた、そして、出会いを多く得た年でした。ところで、今年は何年ですね。「丑」という字には「転機」「種から根つこが出て、次に芽が地上へ出かかった状態」の意味があるそうです。新しい年、健康に楽しく芽を育てていきたいな…。(N)

編集後記



平成20年

10/21 ▶ 12/19

アートセラピー in ナカムラ病院

絵画や写真、押し花、書道などギャラリーへの作品展示とともに、山口紀行先生による似顔絵イベント、山根房子先生による押し花教室がありました。

主催者の方からコメントをいただきました。

山口先生は病棟にも足を運び、似顔絵を描いてくださいました。「少しの時間こちらを見ていてください」と話され、アツ



という間に似顔絵ができあがります。似顔絵を見ると、車椅子から立ち上がり歩き出しそうなほどの喜びを表される方もおられました。



押し花教室は、1チーム7~8名で行いました。かわいらしい花々を自由に置き、コースターなどを作りました。

できあがった作品の良さに歓声、喜びの顔、顔。子どものような表情の笑顔が印象的でした。

これからも機会がありましたら、続けていけたらと思います、イベントを終了しました。

NPOひろしまインターネット美術館 原 敏昭
[URL] <http://hiroshima-e-art.com/>

今後の予定

※展示内容は一部変更する場合があります。

展示場所	期間・内容
第一展示コーナー	2月上旬▶3月末 西日本の野鳥たち(写真展)
	4月上旬▶5月末 川堀怜子 —病院を彩る— 絵と押し花展
第二展示コーナー	2月上旬▶3月末 広島市立五日市観音中学校 —親・子・師—展
	4月上旬▶5月末 川堀怜子 —病院を彩る— 絵と押し花展